

MAGiC HOUR

2026
秋号

飯塚高校の制服、変わります。

2027年4月入学生から、新制服スタート。



巻頭特集

未来とつながる 「新制服特集」

Cover

難波 優衣 / 仁田野 天咲

連載

世界とつながる “わたし”とつながる

03 Our Summer Stories

全国大会、そして地域の伝統行事へ。
それぞれの舞台に挑んだ、飯塚高校生の熱い夏。
中島 咲太 / 岩本 理玖



04 巻頭特集 未来とつながる

2027年、飯塚高校の制服が新しくなる
「飯塚チェック」をまとうと、
自分らしい高校生活を始めよう



06 連載 世界とつながる

ニュージーランド、ベトナムへ
この夏、世界へ踏み出した二人
留学・海外派遣で見つけた、新しい景色と新しい自分



07 連載 “わたし”とつながる

オープンキャンパスで見て、聞いて、体験して見つけた、
自分らしい高校生活
飯塚高校を体感した夏。次は、あなたの番です



09 Interviews

先輩たちは、どんなふうに未来を選んだ？
飯塚高校での学びと、その先に広がる可能性
松延 紀希 / 三明 勇斗 / 永井 天美

10 Featured Event

今年は11月21日(土)に開催決定
飯塚高校の「街なか学園祭」を体験しよう！
笑顔と熱気に包まれる、特別な一日へ



11 Information

10月3日(土)、入試対策講座を開催！
オープンキャンパス最終回で、本番への準備を始めよう

12 Next Issue

Our Summer Stories

インターハイの800mで決勝進出を果たした駅伝部の中島咲太さんと、飯塚山笠で生徒としては初めてハナ棒を担い、新流の優勝を支えた岩本理玖さん。全国と地域、それぞれの舞台で活躍した二人に、この夏に感じたことと、次の目標を聞きました。



詳しく見る /



中島 咲太さん
(3年・駅伝部)
桂川町立桂川中学校出身

全国でつかんだ手応えを、次は都大路へ。

Q1. 1500mと800mでインターハイ出場。全国での目標は？

両種目で決勝に進み、少しでも上の順位をめざしました。自分の力が全国でどこまで通用するのか、試したいと思っていました。

Q2. 1500mを終え、800mに向けて意識したことは？

すぐに800mへ意識を切り替えました。最初の1周は力まずに入り、ラスト300mから持ち味のスパートを出すことに集中しました。



右端が中島選手

Q3. 800m予選を組1着で通過。決勝進出が決まったときは？

全国大会の決勝で走れることが素直にうれしく、プレッシャーや緊張よりも、楽しみの方が大きかったです。

Q4. 全国トップの選手と走って感じた手応えと課題は？

積極的にラストスパートを仕掛けられ、全国でも通用する部分があると感じました。一方、レースの組み立て方や最後の勝負強さは今後の課題です。



Q5. インターハイの次にめざすものは？

仲間と力を合わせて県駅伝で優勝し、都大路に出場することです。その先も大学で競技を続け、日本選手権や三大駅伝をめざします。



詳しく見る /



岩本 理玖さん
(3年)
大任町立大任中学校出身

仲間とつないだ飯塚山笠で、念願の優勝へ。

筑豊地区の高校で唯一、飯塚山笠に参加！

Q1. 飯塚山笠への参加と、ハナ棒を担ったきっかけは？

2年前に初めて参加したときは優勝に届かなかったため、高校生活最後の今年こそ優勝したいと思い、参加を決めました。柔道で培った体力と精神力を評価していただき、ハナ棒を任せられました。



ハナ棒を担ぐ岩本さん

Q2. 初めてハナ棒を任せられ、どんな思いで臨んだ？

生徒がハナ棒を担う初めての試みで、大きなプレッシャーを感じました。安全面でも責任の大きい役割だからこそ、最後まで集中を切らさず、「任せてよかった」と思ってもらえるよう全力で臨みました。

Q3. 追い山で意識していたことは？

地域の方々から「頼むぞ」と声をかけていただき、さらに気合いが入りました。仲間と息を合わせ、最後まで走り切つて、山笠を次の引き手へつなぐことに集中しました。

Q4. 優勝が決まった瞬間、どんな気持ちでしたか？

これまでの努力やプレッシャーが一気に込み上げ、涙があふれました。仲間や先生方と抱き合い、地域の方々にも祝福していただいた、忘れられない瞬間です。



前列右から3人目が岩本さん

Q5. 山笠を通して得たものは？

一人では難しいことも、仲間と力を合わせれば成し遂げられると学びました。中学生の皆さんにも、この伝統を受け継ぎ、飯塚山笠をさらに盛り上げてほしいです。

未来とつながる

2027年4月入学生から、飯塚高校の制服が新しくなります。

「飯塚チェック」をまとめて、自分らしい高校生活を始めよう。

この夏服で、どんな思い出をつくろう。

POINT 01

飯塚高校だけの
オリジナルチェック
半袖シャツにも
「飯塚チェック」を採用



POINT 02

世界に一つ、私だけの柄
ネクタイとリボンは、
一つ一つ柄の出方が違います



POINT 03

自分らしさを表現できるスタイル
スカートもスラックスも、
選べるのがうれしい



装いを自分で考え、選び、表現する

GLIデザインTシャツも、夏服と冬服のミックスも。いろいろな組み合わせを楽しんで

OTHER COORDINATE



POINT
01

品格のあるダブルジャケット
伝統と新しさを感じさせる、
印象的なデザイン



POINT
02

深みのあるオリジナル生地
ブルー・グレー・ネイビーを
織り交せた上質感



POINT
03

男女共通のジャケットデザイン
飯塚高校生としての
一体感を持てるスタイルに



袖を通せば、背筋が伸びる。毎日が特別な1日になる。



- ✓ 英国王室御用達の老舗メーカーが
正式認定
- ✓ 英国伝統のタータンをモチーフに
- ✓ 飯塚の歴史と「飯塚ブルー」を
一つの柄に

詳しく見る /



この夏、それぞれニュージーランドとベトナムへ飛び立った二人。
現地での学びや人々との交流を通して、英語でつながる楽しさを知り、
新たな自信を手に入れました。
一歩を踏み出した先で何を感じ、どのように成長したのか。その挑戦を紹介します。

詳しく見る



先輩に聞いた3つのこと

- ① 参加したきっかけ ② 現地で印象に残ったこと ③ 自分自身の変化



NZランギオラ高校 交換留学
2026年8月10日～8月27日

岸 麗羽さん(1年)
飯塚市立飯塚第一中学校出身

めざすのは、
海外大学への進学

英語に自信がなくても、一歩を踏み出せる。 高1で挑んだニュージーランド交換留学

- ① 自分の視野と可能性を広げ、将来につなげたいと思い参加しました。
一番の目標は英語力を伸ばすこと。
ニュージーランドならではの自然に触れることも楽しみにしていました。
- ② 生徒がタブレットで課題を進める、日本とは異なる授業スタイルが印象的でした。
街の人も気さくに話しかけてくれ、英語を使う機会がたくさんあります。
- ③ 会話の速さに戸惑うこともありましたが、少しずつ英語を聞き取れるようになりました。
新しく知った言葉は会話で使い、寝る前に振り返っています。

将来は海外の大学へ進学し、現地で自分のやりたいことを見つけるのが岸さんの夢です。
「英語に自信があるわけではない私にも、高校1年生から海外で学ぶ機会がありました。
少しでも留学に興味があるなら、一歩を踏み出してほしいです」

STUDENT EXCHANGE

英語でつながる楽しさを知った、ベトナムでの8日間

- ① 1年生の頃から留学に興味がありました。学んできた英語で
現地の人と直接話し、交流してみたいと思い、参加を決めました。
- ② 言葉が通じない場面でも、現地の方々が笑顔やジェスチャーで
温かく接してくれたことです。ホームステイではパディと英語で
会話を重ね、少しずつ会話が弾むようになりました。
- ③ 日本人の参加者に思わず「Yes」と返事をするほど、英語が自然と口から出るよう
になりました。修了式では日本人参加者を代表してスピーチを行い、緊張を乗り越えて
やり遂げたことが自信になりました。



アジア派遣(ベトナム)
2026年8月1日～8日

今村 心郁さん(2年)
飯塚市立二瀬中学校出身

もっと
世界を知りたい!

ベトナムで人とつながる楽しさを知り、ほかの国の文化や人々にもさらに触れてみたいという今村さん。
「興味のあることには、自分から『挑戦したい』と伝えることが大切だと思います。
実際にいったからこそ分かることや、出会う人がたくさんあり、自分の世界が大きく広がりました」

コースも、授業も、部活動も。

飯塚高校を体験した、夏のオープンキャンパス。その模様を写真で紹介します。



次は、入試への一步。

10月3日(土) 入試対策講座

／ 詳細はこちら ／

国語 数学 英語 の3教科を実施します。
詳細は決まり次第、ホームページでお知らせします。





それぞれの道を歩み始めた令和7年度卒業生の3名に、
大学での学びや飯塚高校で得た力、これからの夢を聞きました。

卒業生に聞いた4つのこと

- ① 大学での学び・活動 ② 飯塚高校で得た力 ③ これからの目標 ④ 中学生の皆さんへ



松延 紀希さん
飯塚市立庄内中学校出身

北九州市立大学
文学部 比較文化学科 1年

先生と歩んだ受験の日々が、
国語教員をめざす原点に。

② 自分の可能性を信じて挑戦する力です。小さな成功体験を積み重ねる中で、一歩を踏み出せるようになりました。

③ 生徒一人ひとりに寄り添い、「できるようになる過程」を伝えられる国語の教員をめざします。

④ 最初から自分の可能性を狭めず、興味を持ったことに挑戦してください。一人ひとりを信じ、一緒に歩んでくれる先生方がいます。

※松延さんは卒業時に取材したため、
◎～◎を掲載。



三明 勇斗さん
飯塚市立二瀬中学校出身

立命館アジア太平洋大学
サステナビリティ観光学部 1年

学業・駅伝・留学への
挑戦が、世界へつながった。

① 観光やホスピタリティを学びながら、国際学生との交流や、仲間と立ち上げた陸上サークルの地域貢献活動に取り組んでいます。

② 学業・駅伝・留学に挑み続け、将来の選択肢を広げる力です。留学を通して、自分らしいリーダーシップにも気づきました。

③ 北欧へ留学し、サステナビリティと観光を学びたいです。将来は、自分の手でリゾート地をつくるのが目標です。

④ 部活動や留学、地域活動など、可能性を広げる機会がたくさんあります。興味のあることに、ぜひ挑戦してください！



永井 天美さん
鞍手町立鞍手中学校出身

中村学園大学
栄養科学部 栄養科学科 1年

製菓で見つけた「好き」を、
食と健康の未来へ。

① 管理栄養士をめざし、食や栄養について学んでいます。料理を学ぶ調理実習が特に楽しいです。

② 目標に向けて早くから準備し、自分から行動する力です。3年間活動を続け、生徒会活動にも取り組みました。

③ 管理栄養士と家庭科の教員免許の取得です。将来は、製菓と栄養の学びを生かし、カフェのような形で菓子を提供する自分のお店を持ちたいです。

④ 製菓を学びながら大学進学もめざせます。自分の「好き」を、将来につながる力にしてください。

※記事内容は取材当時(2026年8月、松延さんのみ3月)のものです。

詳しくはこちら

令和8年度、製菓コースは「ネクストパティシエプロジェクト」へ。

製菓実習や商品開発、地域活動を通して、「好き」を将来の進路につなげます。



Featured Event

今年も開催！街なか学園祭

飯塚高校の学園祭は、学校を飛び出して商店街へ！

生徒による企画や出店、地域のお店・企業とのコラボレーションが、飯塚市の街なかに広がります。
中学生のみなさんもぜひ遊びに来てください。



※写真は2025年11月開催時のものです

開催日時 2026年11月21日(土) 10:00~15:00

会場 飯塚市 本町商店街・東町商店街、
イヅカコスモスコモン前広場

内容 生徒による企画・出店、
地域店舗・企業とのコラボ企画など

詳しくはこちら
からチェック

企画内容や
出店情報など、
最新情報は随時更新！



地域企業・事業者のみなさまへ

出店支援、商品提供、生徒とのコラボ企画、
協賛など、街なか学園祭へのご協力を募集しています。

お申し込み・
詳細はこちら



Information

あなたに合う学びが、きっと見つかる。

飯塚高校の学びは、2つのプロジェクトから広がります。地域・社会・世界とつながりながら学ぶ「探究プロジェクト」と、自分の「好き」や好奇心を起点に体験を深める「ネクストプロジェクト」。さらに、実践的な技術を学ぶ自動車専攻科も設置しています。

＼ 詳しく見る ＼



**探究
プロジェクト**
〈普通科〉



＼ 詳しく見る ＼



**ネクスト
プロジェクト**
〈総合学科〉



10月3日(土) 入試対策講座を開催!

夏から続いたオープンキャンパスも、いよいよ最終回。

今回は、入試本番に向けた国語・数学・英語の対策講座を開催します。

飯塚高校への受験を考えている人はもちろん、

これから本格的に入試対策を始めたい人も、ぜひ参加してください。

合格への一歩を、ここから踏み出そう!

＼ 詳細・お申し込み
はこちら ＼



世界と出会う。地域で学ぶ。
自分らしさを磨く。
飯塚高校で、可能性が広がる3年間。



Staff

編集長

室園 人志(広報戦略室室長)

ブランディングチームリーダー

中辻 喜敬(教員/サッカー部監督)

編集・ディレクター

池田 園子

Web担当

矢野 麻子

デザイナー

江口 学(White Product)



IIZUKA HIGH SCHOOL